



「だいじょうぶだいじょうぶ。」を読んで

千駄谷小学校 二年二組 白露菜々花

わたしは、だいじょうぶと言う言ばがすきです。おとうさんやおかあさん、おじいちゃん、おばあちゃん、先生、友だちに

「だいじょうぶだよ。」と言われると、あんしんして、うれしくなります。だから、わたしは、この本を読みました。

お話に出てくる男の子は、小さいときからおじいちゃんとおじいちゃんに多くて、よくおさん歩をしていました。

いえの近くのおさん歩でしたが、とおくをぼうけんするみたいにたのしんでいました。わたしのおじいちゃんは、とおくにすんでいます。だから、あまり会うことはできません。でも、ながいお休みのときに会いに行きます。八月にあそびに行ったとき、おじいちゃんといもうとおさん歩に行きました。近くの公えんでしたが、おじいちゃんが一しよにいたか

ら、ワクワクしました。だから、わたしと男の子はにている
と思います。

男の子が友だちとけんかをしたり、犬にほえられたり、こ
まったとき、おじいちゃんはいつも

「だいじょうぶだいじょうぶ。」と言っていました。おじい
ちゃんが、おまじないのように何でも言ってくれたから、男
の子はこころも体も強くなったと思います。

わたしも、友だちとけんかしたり、こまったことがあつて
も、

「だいじょうぶだいじょうぶ。」と思って、男の子のように
がんばります。そして、わたしには、

「だいじょうぶ。」と言ってくれる人がたくさんいます。わ
たしも、友だちやいもうと、こまっている人に

「だいじょうぶだよ。」と言って元気にしてあげたいと思い
ました。